



新年度、新しい気持ちで
活動に、対話に、精進します

パーティー券の裏金づくり、会食のお土産に10万円の商品券。これが「党の文化や風土だ」というのでしょうか。今日の千円、明日の一万円と物価高の中で、生活費や、支払うべきローンなどに対し、日々工夫して、節約して、必死に生活している庶民感覚と、大きくずれています。



暮らしに対する感覚が違えば、打ち出される政策も、まと外れになります。200円に近づくガソリン代をどうにかしてほしい、2倍になったコメ代をどうにかしてほしいと願う声。年金の額が物価高騰に追いついていない、中小企業の賃金や売り上げが追いついていかない、学校から届く給食費、学級費、教材費などの毎月の請求、大学に行きたいという声に応えるために必死に働き、借金を申し込む親の思いを逆なでする国立大学の学費値上げなど、これまでの政治で作られた社会制度に対する声、声、声。



私は、これからも歯を食いしばって、まっとうな政治を取り戻し、戦争に反対し、平和で福祉の充実した社会を求めて活動していきます。人の温情を互いに感じ合い、助け合う社会を取り戻すため活動していきます。

引き続きのご理解とご支援をお願いします。



2025年4月
発行
県議 岩切たつや
住所 880-0942
宮崎市生目台東
1丁目6-8
電話 0985-89-5158



2月議会では、知事が、「みやざきの『真価』実感予算として編成した」という2025年度（令和7年度）予算を中心に審議されました。

【歳出6,680億円の主な政策】

- 1 日本一挑戦プロジェクトの着実な推進として
 - ・第2子保育料負担軽減など日本一生み育てやすい県へ
 - ・植栽未済地解消緊急対策など再造林率日本一へ
 - ・国際テニス大会誘致などスポーツ環境日本一へ
- 2 若者・女性を重視した人口減少対策強化
 - ・若者UIJターン促進、非正規労働者等の正規雇用への転換支援、女性に優しい職場づくり支援など
- 3 持続可能な未来に向けた基盤づくり
 - ・外国人材定着促進支援、新規就農者確保総合対策、インバウンド向け二次交通対策強化、推し活で日本のひなたプロモーション、産業DXトータルサポート、災害ボランティア支援体制整備、重度障がい児者医療費公費負担に新たに精神障がい者医療費を助成、など



若者UJターン促進事業



*一度、都市部に就職したけど「やっぱり故郷で働きたい」「宮崎出身じゃないけど私も宮崎で働きたい」ということで、UターンやJターンする若者たちに、就職して1年以上5年未満なら30万円を支給します（直接は市町村事業で、県は補助する立場）。5年以上なら、すでにある単身者60万、世帯なら100万円の移住支援金制度がありました。早期離職が多い世代に注目した制度ができました。都会のお子さんを呼び戻したい時には最適です。他にも県外で学ぶ学生さんが県内就職活動する費用の支援や新卒者の県内への引っ越し費用支援もあります。要件がありますので、チェックしてください。

高等特別支援学校の整備

*高等特別支援学校は、就労に重点を置いたカリキュラムで一般に軽度の知的障害を持つ生徒に、障がい者雇用枠を利用した一般就労を目指す学校です。

県北、県西、県南の3地区は令和8年4月、県央地区は令和9年4月に開校を予定し、県央地区では新設工事が7年度から開始されます。同時に、中央支援学校、明星支援学校の寄宿舎も併せて整備します。

2019年2月に質問に取り上げ、充実を求めた結果が今、実ります。



校舎イメージ

第2子保育料負担軽減事業

年齢別・出生順位別の保育料の負担割合

| 未就学児 | 第1子 | 第2子 | 第3子以降 | 今回事業 |
|-------|------------------|---------------------------------|-----------------|---|
| 0～2歳児 | 利用者負担 (10/10) | 利用者負担 (1/2) 公費負担 (1/2) | 公費負担 (10/10) | 第1子 利用者負担 (10/10) |
| 3～5歳児 | | 公費負担 (10/10) | | 第2子 利用者負担 (1/4) 公費負担 (1/4) 公費負担 (1/2) |
| | | | | 第3子以降 |

※「公費負担」部分の財源は、国1/2、県1/4、市町村1/4で負担

*第2子について、保育所利用負担金を4分の1まで軽減します。
0～2歳の第1子からの軽減、無償化が実現するもっと良いのですが・・・。がんばりどころです。

日常活動



立憲民主党大会に出席。山内かなこさんを公認候補予定者としました。決選投票も実施されました。



新年度の政策の一
部を紹介します。

2月議会